

大会参加者の皆さまへ

## TOKYO センチュリーライド葛西 2011 SPRING STAGE

開催中止とその後に関するご報告

大会主催者

この度の東日本大震災によって亡くなられた方々に哀悼の意を表します。また、未だ避難生活を余儀なくされているたくさんの被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

3月11日(金)午後2時46分に発生した東日本大震災を受けて、3月11日(金)午後7時の時点で翌12日(土)に開催を予定した標記大会を急きょ中止といたしました。

この日、葛西臨海公園で大会会場の設営作業中に地震が発生、津波警報の発令を知らされ海岸から一時避難しました。また、荒川河川敷のコース設営、エイドステーション設営にあたるスタッフと連絡が取れなくなり、コース状況を確認することもできない事態に陥りました。通信手段が途絶え、公共交通機関は停止、都心は帰宅困難者と車で大渋滞という様子がテレビで伝えられていました。この状況下で、3月12日に参加者二千余人の安全を確保し、円滑な大会運営を維持することは困難と判断し、大会中止を決定しました。

今回の中止は、大会参加規約にあるように、主催者の責によらない事由に起因するため、大会参加料の返金はありません。とはいえ、大会実施まで調整期間のある段階での中止であればまた異なる対応も可能でありましたが、数か月に及ぶ告知作業や交渉作業を経て、大会前日の設営作業をほぼ予定通り実施、震災翌日の撤去作業も同様に生じるなど、開催したに等しい大会制作コストが発生したタイミングでの今回の中止でした。さらに大会本体が実施できなかったことによる協賛金や助成金の縮小も大きく影響しました。誠に不本意ではございますが、皆さまのご理解を賜わりたくお願い申し上げます。

今大会では、スタート会場や10km毎のエイドステーションで配布するために、協賛社からご提供頂いた、お菓子類とスポーツドリンク、大会で購入したミネラルウォーターを準備していました。3月11日以降、深刻な津波被害と物資不足が報道される中、何人もの大会参加者の方からお電話を頂戴し、これらエイド食材を有効に活用しなければならぬと判断しました。3月13日(日)、宮城県の支援窓口・県食産業振興課食産業企画班と電話がつながり、大会からの支援を申し入れるとともに、エイド食材の転用について協賛社のご了解を頂きました。翌14日(月)、宮城県から返信があり、同県柴田郡大河原町の大河原地域振興事務所に大会負担で輸送して欲しいとの決定連絡を受け、トラックを手配し、燃料の心配や高速道路の車両規制を県窓口と連携し短時間に解決して、週末3月18日(金)夜、同事務所に支援物資をお届けすることができました。これも参加者の善意に支えられた結果であり、皆さまに心から感謝を申し上げます。

今回第3回大会であったTOKYO センチュリーライドは、今後も継続開催したいと考えています。しかし、依然活発な余震活動や、電力・生産・物流など民間企業の活動基盤も不透明な部分が多く、開催の可否は予断を許しません。協賛金など参加料以外の収入を確保しなければ開催が困難であることも併せてご理解ください。

開催中止から1カ月が過ぎ、大会残務がほぼ終了いたしましたので、ここに簡単ではございますが開催中止後のご報告をホームページ上で公開いたします。

今後とも皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年4月13日

※受付会場で配布する予定であった大会参加記念品(大会特製タンブラー)は主催者が保管しています。ご希望の方は大会事務局=TEL 03-5213-3250(平日 10-17時)にお問い合わせください。

■実施イベント報告

■スプリングステージ大会準備風景

■宮城県への物資輸送

## ■実施イベント報告

### ●TOKYO センチュリーライド葛西 2011 KIDS RIDE～子ども自転車教室～

日時・会場 2011 年1 月30 日(日)・江戸川区陸上競技場  
午前10-12 時 指導者講習会  
午後13-16 時 KIDS RIDE～子ども自転車教室～

主催 TOKYO MX、東京新聞・東京中日スポーツ

特別協賛 ロッテ

特別協力 チャレンジ25 キャンペーン(環境省)

指導員 Blacky@中島隆章(ウィーラーズスクールジャパン)、ほかボランティアなど指導員約30 人

資格・定員 補助輪を取って乗りたい幼児と、もっと自転車が上手になりたい小学生100 人  
(保護者同伴が条件/自転車各自持ち込み)

参加料 参加無料

募集・締切 2010 年12 月中旬からはがき、または東京新聞HP で申し込み。2011 年1 月24 日締切(先着)

教室スケジュール

10:00～12:00	指導者講習会
12:00～	受付開始、車両チェック、クリニック準備(補助輪、ペダル取り外し作業)
13:00～14:30	足漕ぎバランス走練習(ロードコーン、マーカー使用)
14:30～16:00	ペダル取付、ペダル漕ぎ・スラローム・障害レース他 ⇒修了証、菓子等授与
13:00～16:00	スキルアップ トレーニング(小学生対象)



### ●実施報告

1月中旬 大島地区および葛西地区にチラシ15,000枚配布

1月30日 子ども約100人参加(幼児～小学生)

サンプリング ロッテ・コアラのマーチ缶+adidasトートバッグ+adidas skin protection(フェイシャルシート)

### ●実施風景



●シンポジウム「自転車+健康+環境」

日時・会場 2011年2月5日(土)・小松川さくらホール  
午後14時～16時

主催 TOKYO MX、東京新聞・東京中日スポーツ

特別協賛 ロッテ

特別協力 チャレンジ25 キャンペーン(環境省)

出演 白戸 太朗(コーディネーター)

相澤 和春(環境省地球環境局地球温暖化対策課国民生活対策室)

立原 直正(江戸川区土木部計画課長)

福井 昌平(コミュニケーション・デザイン研究所 代表取締役)

今坂 純也(バイシクルクラブ編集部編集長/榎出版社)

勅使川原 郁恵(ウオーキングキャスター)

参加料 聴講無料。定員350人

募集・締切 2010年12月中旬からはがき、または東京新聞HPで申し込み。2011年1月24日締切(先着)

スケジュール 13:30 開場

14:00 開演～環境省からのお知らせ(相澤 和春)

14:30 特別講義『環境先進都市と自転車～国内外の先進事例を中心に～』(福井 昌平)

15:00 パネルディスカッション

15:30 抽選会

●実施報告

1月中旬 大島地区および葛西地区にチラシ15,000枚配布

2月5日 約200人が聴講

サンプリング ロッテ・コアラのマーチ缶+adidas skin protection(フェイシャルシート)

抽選会 adidasエナメルバッグ、adidas skin protection詰め合わせ

●実施風景



■ スプリングステージ大会準備風景

3月4日(予告看板の設置) 河川敷 18カ所 公園 2カ所



3月11日(葛西臨海公園の設営)※地震直後



## ■宮城県への物資輸送

### ○LOTTE お菓子(チョコ、クッキー、キャラメル等)※2500人分相当

ガーナクランキーミニ(チョコ)	14 ケース	入り数	1 ボール/5 ケ	1 ケース/6 ボール
チョココ(クッキー)	9 ケース	入り数	1 ボール/5 ケ	1 ケース/6 ボール
アーモンド・ホロニガ(チョコ)	1 ケース	入り数	1 ボール/10 ケ	1 ケース/12 ボール
塩キャラメル	25 ケース			

### ○アミノバイタル(スポーツ飲料)

500mlPET×24 本×113 ケース=2712 本

900mlPET×12 本×201 ケース=2412 本

### ○ミネラルウォーター2lPET×6 本×80 ケース=480 本

### ●輸送風景(3月18日)

#### 荷物を積み込んで都内を出発するトラック



大河原地域振興事務所の納品風景 〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1



### ■本件に関するお問い合わせ

TOKYO MX 事業局事業部(TOKYO センチュリーライド葛西 2011 プロジェクト事務局)

TEL 03-5213-3250(平日 10-17時) FAX 03-5213-1898

〒102-8002 東京都千代田区麹町 1-12 東京メトロポリタンテレビジョン株式会社

(東京メトロ半蔵門線「半蔵門」3番出口徒歩2分、皇居「半蔵門」向かい)